



堺市における「地域福祉型研修センター機能」調査事業



DATA

主な連携先・メンバー

堺市長寿支援課/堺市社会福祉協議会地域福祉課/堺市内で地域福祉に 関わる専門職・活動者

■活動地域

大阪府堺市

- 活動期間
- 2016年度~2018年度
- ■活動資金

堺市と関西大学との地域連携事業

活動の目的

- 地域福祉の担い手づくりやスキルアップの効果的な推進
- 2 堺市に必要な地域福祉型研修センター機能を明らかにし、地域福祉 人材養成のニードの把握と評価実施の力量形成をめざす



連携にいたる経緯

堺市では「健康福祉のマスタープラン」として、地域福祉を推進する「堺あったかぬくもりプラン 3」を策定した。本事業は、この中で計画されている「地域福祉型研修センター機能の検討」の 一端を担う調査研究事業として、堺市長寿支援課、堺市社会福祉協議会と連携して実施して いくこととなった。



活動内容

【2016年度】

- ・地域福祉型研修センター検討にかかる研究会の実施(全3回)
- ・学習会(研修)の実施(全3回)
- ・他市の先進的事例視察調査の実施(名古屋市、新潟市、札幌市)
- ・地域福祉に関わる研修ポータルサイトの検討

【2017年度】

- ・研修ニード把握のための調査設計・実施企画会議・学習会(全6回)
- ・研修プログラムの設計・実施のための企画会議・学習会(全6回)
- ・調査(全2回): 専門職対象、住民活動リーダー対象のフォーカスグループインタビューの実施
- ・堺市における地域福祉型研修センター機能の検討にむけた調査結果の分析および研修開催 にむけた検討会(全2回)
- ・地域福祉に関わる研修ポータルサイトの検討

【2018年度】

- ・地域福祉型研修センター推進会議の開催(全2回)
- ・学習会の開催「事業評価研修」
- ・企画会議の開催(全7回):昨年度実施した協働研修のふりかえり(ヒアリング調査)、専門 職研修にむけたプログラムづくり、専門職研修の受講生インタビュー、専門職研修の 企画者のふりかえり
- ・企画した研修(協働研修、専門職研修)の実施







口活動の成果

- 1 全市レベルでの地域福祉人材養成事業の推進・検証体制の基盤 形成をはかることができた
- 2 堺市の地域福祉人材ニードを把握し、堺で働き活動する多様な地域 福祉に関わる専門職や住民らの協働による研修企画・運営・実施 の力量とは何か、その形成はどのようにすればよいのかについて、 施行的な取組みを通じて、一定明らかにすることができた

Q 今後の課題・目標

地域福祉に関わる多様な専門職や住民らの協働による 研修企画・運営・実施の力量形成については、本事業が 開発してきた全国的にも珍しいとりくみであり、そうした 力量を定着・発展させることをめざし、本事業終了後、 新規事業として3年間実施の予定

教 | 員 | 紹 | 介



■人間健康学部 教授

地域の生活課題や福祉課題に対して、地域の様々な人々が自分たちの課題として、自分たちの できること・やりたいことを協働で進める地域福祉実践に惹かれている。地域福祉実践の研究と地域 福祉実践に携わる専門職や地域リーダーらの協働での研修プログラム開発などにとりくんでいる。

所めぐみ

Megumi Tokoro